

令和 2 年度

選 奨 録

奈良県教育委員会

奈良県立御所実業高等学校教諭
たけだ ひろゆき
竹田 寛行

昭和35年5月8日生（60歳）

昭和60年に県公立学校保健体育科教員として採用され、県立添上高等学校、県立大淀高等学校勤務を経て、平成元年に県立御所工業高等学校（現県立御所実業高等学校）に着任。以来、教育に対する強い情熱と意欲を基盤に、とりわけ保健体育科教育及び運動部活動の充実発展に長年にわたり尽力し、本県教育の振興と発展に大きく貢献した。

特に、運動部活動においては、練習内容の充実と熱意によって、同校ラグビーフットボール部を「国民体育大会」優勝2回、「全国高等学校ラグビーフットボール大会」準優勝4回、同大会ベスト4が2回など、全国トップレベルのチームに育て上げた。

その指導は、技術面のみならず、全人的な成長を促す選手育成に努め、日々絶やさぬ生徒への声掛けを指導の柱としてきた。近年は、「いい準備、いい環境、いいモデル、いい将来」をモットーとし、繋げること、やりきることを目指す中で、コミュニケーション能力を高め、自発的・自立的に行動できる生徒の育成に取り組み、成果を収めている。

また、その指導力はラグビーフットボール部のみにとどまらず、同校の他の生徒にも規範意識やマナーの向上を促すなど、学校の教育活動全般にも貢献している。地域での小学生・中学生等を対象としたラグビー教室等による青少年の健全育成の取組は、地域の保護者・住民とのつながりを育み、スポーツを通じた地域の活性化にも貢献している。

永年にわたり、教育活動を通じて、一貫して生徒の立場を尊重した指導に情熱的に取り組み、多くの保護者や地域住民等との信頼関係を深め、厚い信望を集めた。また、揺るぎない教育観に基づいて、ひたむきに教育に打ち込むその姿は、他の教員の模範となっている。